

編集長インタビューレポート 2023-No.1

今回は、[ハンガリー人絵本作家のチューケ・キッティ](#) さん。

自身のハンガリー語絵本を日本語訳出版もされている新星若手絵本作家さんです。

2022年12月中旬ブダペストにてインタビューさせていただきました。

キッティさんは幼い頃から絵を描いたり、話を作る事が好きで、小学校は美術サークルに、高校・大学は美術科を専攻し多くの事を学びました。10歳の時から日本文化に興味があり、多くの日本の本を読んでいたそうです。以前から日本語を学んでみたいという思いはあったものの機会はなく、大学在学時に機会が訪れ日本語の勉強を始めました。在学時には奨学金で1年間日本へ留学されました。現在 MODEM Modern és Kortárs Művészeti Központ で美術先生として働く傍ら、絵本製作をされています。製作から出版するまで長い準備期間と挑戦が続いていましたが、晴れて本として出版されました。ネット販売もされており、2023年には更に2冊の日本語版が出版され、2月にはご自身の本のイベントも開催されるとの事。キッティさんの今後が楽しみです！



以下、キッティさんのコメント・・・



設定は老若男女限らず、年齢の壁を越えて皆さんに作品を届けていきたいと思っています。挿絵に使用している私の作風は主に水彩画、混合技法、コラージュ、版画、ペン画に親しんでいて、水彩画の醸し出す空気感や輪郭をはっきりさせた絵も好んで描いています。10歳の頃から親しんできた日本文化から多くの影響を受けています。日本で経験したことや受けた印象は、私の創作活動に深みとひらめきを与えてくれました。

物語を進めていくのは文章だけでなく、挿絵のイラストも本全体の物語の一部で意味を表します。ペインティングのタッチが違うだけで伝わる印象も大分変化してくると思うのです。基本的に背景に建物などの風景を入れなかったのは、その中心にいるキャラクターたちの様子をピックアップし各キャラクターへ更に息を吹き込み一体化させたかったのです。文章に使っている文字数も最低限にしました。その文章から各読者が個々の想像力を使って自身の物語へと誘導する手段にしてほしいと思います。

児童対象に参加型の絵本となるように物語を作っています。出版会や展示会でゲームのように遊びながら進行させ楽しく作品を紹介する事によって、もっと開放的なものとなりインプットされていく事を大事にしています。

5年間、Déri 博物館で日本の文化と美術サークルを行なったり、日本の日のイベントも3度開催したことがあります。

日本語の出版には翻訳:佐藤 絢 先生(デブレツェン大学日本語講師)そして原文校正:ボドロギ・フェレンツ・マーテー先生(デブレツェン大学助教授)の多大な協力を得て完成させる事が可能になったので、お二人にはとても感謝しています。

私の近い未来のビジョンとして読み聞かせなども大事ですが、“絵本(見る・聞く・音読)と音楽(聴く)・そしてダンス(心と体)で感じる“動”という意味“。この3つの感を組み合わせていけたら更に物語に息が吹き込まれていくだろうと考えます。

その一つとして、2月にデブレツェン市で開催予定のイベントでは、絵本と音楽を組み合わせる予定です。

きっと各読者のイメージが更に幅広いものが、もしかしたら3Dのように映像となって脳裏に映りだしてくれたらよいなと思っています。2023年には2つの絵本が日本語版で出版されます。どうぞお手に取って読んでみてください。今後ともよろしく願いいたします。

これまでの絵本作品

『ハンナとエンマ/Hanna és Emma』 2022年自費出版

アンティークドールと少女が友情を育んでいく物語。友情、愛情、配慮、希望といったテーマが込められています。人形と少女は直接話すことは出来ませんが、互いの気持ちをよく理解し合っています。度々人形から見た世界を描写している場面があります。人形が何を考え、何を感じ、何に関心を持っているのか読み取れます。私の母(本人)エンマは、アンティークドールを収集していて、私もよく骨董市に行きます。この人形の目を通して見る世界の話は、母の人形にかける愛情に着想を得て生まれました。※日本語版発売中



『がんばれ、ラッシュー/Hajrá Lassú!』 2021 LIRA 出版社

これは子ウサギのラッシューの物語です。何事もゆっくり、のんびり、じっくりやることからラッシュー(遅い)という名前がつけました。

ラッシューは自分探しをしながら、得意なことを見つけようと頑張ります。

他人と自分を比べながら色々な事に挑戦します。でも次々と困難にぶつかり、どんどん自信とやる気をなくしてしまいます。さて、ラッシューは答えを見つけることができるのでしょうか？

『ティフェヘルとポルツィツァ/Tejfehér és a porcica』 2022年出版

主人公はティフェヘル、牛乳(ティ)のように白い(フェヘル)毛の子猫です。我慢できずにある悪さをしてしまい、お仕置きを恐れてベッドの下にもぐりこみます。ベッドの下でじっと縮こまっていると、こちらを見ている目がだんだんと増えていくのでした。



キッティさんの本は表紙と裏表紙で一つの絵/ストーリーになるように工夫されています。

『がんばれ、ラッシュー/Hajrá Lassú!』2度の interaktív (対話形式) 授業の様子



オンラインショップ先：<https://alexandra.hu/szerzo/csoke-kitti> <https://www.lira.hu/hu/szerzo/csoke-kitti>
ブログ <http://kitticsoke.blogspot.com/2011/07/illustaciok-illustrations.html>
プロフィール <http://kitticsoke.blogspot.com/2011/07/illustaciok-illustrations.html>
インスタグラム https://www.instagram.com/csoke.kitti_art/
TIKTOK <https://www.tiktok.com/@kitti.art>
YOUTUBE <https://www.youtube.com/@kittiart5945>
SHOP <https://www.artbridge.shop/hu/muvesz/csoke-kitti/>



キッティさん、ありがとうございました。